



留萌市議会だより

留萌市議会

検索



※左記のQRコードからも留萌市議会のホームページにアクセスできます。

第155号 議会です こんにちは

主な内容

- P 6 ・新年のご挨拶
- P 7 ・各常任委員会からの報告
- P 8 ・公共施設整備調査研究会、議会運営委員会視察
- P 9 ・南部三市町議会議員研修交流会
- P 9 ・組合議会からの報告
- P10～P12 ・第4回定例会一般質問
- P13 ・こんなことが決まりました
- ・議会の動向…………… ほか

市民の皆さま、明けましておめでとうございませう。令和7年の新春を市民の皆さまとともに迎えられますことを心からお慶び申し上げます。

日頃から、留萌市議会に對しましてご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。



決意新たに！



市議会では、市民ニーズの把握に努め、その声を議会に反映させる取組の一環として、4月及び10月に市民と議会の意見交換会を開催したほか、郵送や街頭での市民アンケートの実施など、議会基本条例に基づいた「わかりやすく・開かれた」議会の実現を目指し、積極的な議会情報の発信などに努めております。

本年も市への監視機能を發揮するとともに、多種多様な民意の反映、政策の立案等を実現していくため、議会運営の創意工夫、議員資質の向上等、市民の皆さまの負託に込められるよう、議員一同決意を新たにしているところでございます。

本年が、皆さまにとりまして幸せ多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

議長 燕 昌 克

議員研修会「留萌圏地域医療構想について」11月13日



地域医療の課題などを情報共有する議員研修会を11月13日、留萌産業会館にて開催しました。

最初に、留萌振興局保健行政室長

▲武藤一郎氏の武藤一郎氏より「北海道地域医療構想」をテーマに講話。構想区域における留萌の必要病床数は563床、令和7年以降に見直しを行う予定であることなど医療を効率的に提供できる体制の確保について、説明を受けました。



▲金須孝夫氏

続いて、留萌振興局副局長の金須孝夫氏より、「医師確保対策について」医師需要の推計や医師偏在への対応策、医師の働き方改革についてをテーマに講話。地域における医師の確保に必要な範囲で医学部臨時定員の設置を認める方針もあることなど、説明を受けました。

本研修内容は、今後の市立病院の課題対策に生かしていきます。



第1 常任委員会 の報告

市役所庁舎等へ通話録音装置の導入 地域の魅力向上発信事業の取組

◎委員長 戸水美保子 ・村上 雅彦 ・小野 敏雄 ・野崎 良夫
○副委員長 宇川 達朗 ・鈴木 亜湖 ・村山ゆかり

総務部・地域振興部・都市環境部からの議案・報告・情報提供事項について確認した。

【総務部】

議案事項として令和6年度一般会計補正予算及び留萌市の休日定める条例等の一部を改正する条例制定について、情報提供事項として市役所庁舎等への通話録音装置の導入について説明を受けた。

【地域振興部】

情報提供事項として令和6年度第1回留萌市地方創生協議会の開催結果、コンサドーレ



によるスポーツ教室等の開催結果、空き家情報バンクの設置、地域の魅力向上発信事業の取組、アウト



ドア・アクティビティ ▲地域の魅力向上発信事業拠点施設の概要について説明を受けた。小麦集出荷貯蔵施設建設工事の進捗状況の説明の際、今後の工事費見込みについて確認した。

【都市環境部】

議案事項として令和6年度留萌市一般会計補正予算（第6号）のほか4件、情報提供事項として令和6年度留萌市除雪計画、令和5年度版「留萌市の環境」について説明を受けた。

带状疱疹予防接種の現状 クラウドファンディング達成

◎委員長 米倉 靖夫 ・川村 忠司 ・横田 美樹 ・村上 均
○副委員長 田村 裕樹 ・燕 昌克 ・小沼 清美

市民健康部、教育委員会、留萌市立病院からの議案・報告・情報提供事項について確認した。

【市民健康部】

带状疱疹予防接種の現状について説明を受けた。国では令和7年度より定期接種化に向けた議論が進んでおり、その開始に伴う市の助成事業の在り方については、引き続き協議を行っていくとの報告を受けた。



【教育委員会】

学校給食事業委託に係る優先交渉権者の決定について説明を受けた。応募者は1件で、

学校給食事業委託業者選定評価基準に則り、事業内容評価点を上回った生活協同組合コープさっぽろ ▲委託契約が結ばれる給食センターが優先交渉権者となった報告を受けた。



【留萌市立病院】

医療機器更新の財源確保を目指すとともに、留萌市立病院の存在意義を広く知ってもらうことを目的に実施された、クラウドファンディングの結果について情報提供を受けた。道内外から439件の寄附があり、目標金額を大きく上回る1,693万6千円（目標金額に対する到達率112.9%）の結果と、寄せられた応援コメントを確認した。

第2 常任委員会 の報告

公共施設整備調査研究会行政視察

公共施設整備調査研究会では、留萌市が想定している新交流複合施設や水産蓄養施設に対処するため、10月14日から16日までの行程で先進自治体の調査を実施しました。

●根室市

「根室市役所新庁舎」は、基本理念を「世代を超えて安全と安心を未来へ」とし、子どもからお年寄りまで安全で安心して暮らせるまちの拠り所として令和6年5月に開庁。建物は、地下1階、地上4階建ての鉄筋コンクリート造及びプレストレストコンクリート造であり、建築面積は7,000㎡弱、庁舎等工事費は、旧庁舎解体費や外構工事も含め約55億円。庁舎内部には、道産木材が多用されており、防災機器室や仮眠室、更には非常用発電機など、災害拠点としての機能が設備が充実。また、「書かない窓口」のほか、1階



▲根室新庁舎

のエントランスや4階の食堂及び市民交流サロンには市民が自由に入出りでき、USBコンセントの環境などが整備され、住民サービスの充実も図

られていた。

「根室市水産研究所」は永続的に安定した沿岸漁業の振興寄与することを目的とした施設であり、エゾバフンウニ、ハナサキガニなどの種苗生産が順調に行われていた。



●富良野市

令和4年9月に完成した「富良野市複合庁舎」は、「人、まち、自然をつなぎ、次世代の子どもたちへつなぐ庁舎」の実現を目指し、防災・災害対応拠点の強化を念頭に、庁舎と文化会館機能を複合化させた施設。建物は、地上4階建ての鉄筋コンクリート造などであり、延床面積は約8,880㎡、建設工事費は約46.5億円。大ホールの座席は固定式510席で音響も良く利用者から好評。「市民交流スペース」、「へそキッズランド」などの市民利用、「書かない窓口」などの市民サービスが充実



▲富良野市複合庁舎前にて

されていた。

議会運営委員会行政視察

議会運営委員会では、議会改革に繋がる取組として「議会モニター制度」や「主権者教育」について、先進自治体の調査を実施しました。今後、市民の声を反映し、議会機能を強化した活発な議会になる必要があり、これら二つの制度について、視察で学んだことを参考に当市議会に導入できるよう、検討議題として取り扱う必要があると強く感じました。また、新庁舎機能や福祉バスなど、市が抱えている問題についてもあわせて調査しました。

●三重県いなべ市

市民から多角的な意見等をいただき、市議会の運営を強化、充実、活性化することを目的に「議会モニター制度」を設置。令和6年度からスタートしているが、他の議会でも苦慮しているモニターの応募状況が課題になってくると考えている。新庁舎は、市街地や都市施設との機能的、空間的連携を重視し、いなべ市のアイデンティティづくりに新庁舎を活用する考え方などがある。



▲三重県いなべ市議会議場

行政棟、議会棟、シ

ビックコア棟、保健センター棟と様々な機能を集約し、雨水や太陽光による再生可能エネルギーの活用による省エネルギー設計となっている。



合併した4町を結ぶアクセスとして「にぎわいの森」が、市民の日常的なイベントなどで活用され、自然との一体化も感じられた。

●三重県四日市市

四日市市議会は、議会改革に積極的な議会として知られており、通年議会の導入、反問権や文書質問も導入している。10年前から議会モニターを設置しているほか、地域に出向いた議会報告会とシティ・ミーティングを実施。また、高校生など若い世代を対象とした主権者教育「ワイ！ワイ！GIKAI」を行い、政治に対しての積極的参加の可能性を感じた。



▲四日市市「ワイ！ワイ！GIKAI」

植林事業11月1日



造林作業への理解の促進と醸成を図るため、令和6年度留萌市森林・林業・林産業活性化推進議員連盟植林事業を、令和6年11月1日午前10時30分から礼受牧場内の市所有地で実施しました。

同事業では、最初に講師の留萌南部森林組合職員より「山もっとモット（高性能林業機械）」を使用した地拵え作業を見学したあと、植林作業の説明を受け、参加した議員全員でコンテナ苗（クリ）30本の植え付けを行い、造林の大切さについて理解を深めました。

道北地方総会11月25日

道北地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会の令和6年度総会が、11月25日午後2時から旭川市トーヨーホテルで開催され、事業計画等が確認されました。

8名の議員が参加しました。研修会では、留萌振興局地域創生部長の上坂勇人氏を迎え、「地域創生と人手不足」留萌地域の発展に向けて」と題して、基調講演を受けました。

講演は、初めに「人手不足」の現状や求人と求職とのギャップについて、統計に基づいて説明を受け、次に留萌管内でできることでは、参



南部三市町議員研修交流会が11月15日午後4時から、小平町文化交流センター小ホールで開催されました。この会は議員の研さん・情報交換を行う場として、増毛町議会議員10名、留萌市議会議員14名、小平町議会議員

現状の「人手不足」に対する理解を深める

南部三市町議会議員研修交流会 11月15日

が一堂に会して、人手不足について理解を深め、課題等を共有し、今後の活動に向けての貴重な時間となりました。来年は、増毛町での開催が予定されています。

考事例として熊本県五木村、留萌管内初山別村の取組の紹介があり、特効薬はないが、雇用のギャップ対策や新卒者確保、転出対策など、まずは地元でできることから行い、並行して戦略的な移住対策を構築して、職員だけで取り組もうとせず、支援制度や外部人材を活用して実施し、「考え続けること」が重要と話されました。

講演会終了後は、場所を「ゆったりかん」に移して交流会を開催し、現況や課題などについて情報交換を行いました。



組合議会からの報告

留萌消防組合議会

留萌消防組合議会では、11月7日、8日に議員7名、職員3名で行政視察を行いました。

1日目は札幌市消防局南消防署定山溪出張所を視察しました。令和3年11月に新築移転した施設で、札幌国際スキー場などを擁する南区に立地することから、山岳救助のための訓練施設を備えていました。



▲山岳救助訓練施設

2日目は江別市にある北海道消防学校を視察しまし

た。初任の消防士が全道からこの学校に入校して4か月間、各種の訓練を受ける教育訓練施設です。消火の訓練、煙の中での救助訓練、高所からの救助訓練などの施設がありました。さらに、各種専門教育として消防職員教育や消防団教育も実施されました。消防業務への理解が深まる視察となりました。



▲北海道消防学校前で

12月24日は第2回留萌消防組合議会が開催され、令和5年度決算、職員給与条例の改正等4件を認定・可決しました。

令和6年第4回定例会 一般質問と答弁 ①

詳細はこちらからご確認ください。



とみずみほこ
戸水美保子
〔留萌公明党〕

質問 訪問リハビリテーションについて

市内の介護事業者が撤退し、訪問リハビリテーションの介護サービスを受けていた利用者がサービスを受けられなくなり大変困っている。他の施設や病院でサービスを受けたくても、順番待ちという状態になっているがこの現状を改善するための検討は行われているのかお聞きしたい。

答弁 これまでの支援を継続し、市内事業者との連携を図るとともに、国の令和6年度補正予算である「介護人材確保・職場環境改善等に向けた総合対策」の活用を検討していく。

質問 学校給食事業民間委託契約について

プロポーザルの参加表明事業者からの質問において、3年間の委託契約期間終了時に施設所有者と調理業務受託者が別々の事業者となることは基本的に考えていないと回答されているが、今回、優先交渉権者となった事業者は、今後変更されることなく市の給食事業を受注できるのかお聞きしたい。今回のプロポーザルにおいて参加表明のあった事業者2社のうち、応募のあった事業者は1社であったと聞いているが、事業者

選定の透明性を高めるためにどのような取組を行ったのかお聞きしたい。また、次期の受託事業者を選定する際にも、透明性を高めた形で事業者選定が行われるという理解で良いか伺う。

答弁 この度の事業者との契約期間終了後については、無条件に契約更新するのでなく、3年間の事業実績などを評価した上で公平・公正に次期の受託事業者を決定していく。

今回、委託事業者選定の透明性を高めるために、専門的知識を有する方など3名の外部委員含む計8名で、選考方法や評価基準を明確にして選定を行った。事業委託契約成立後には学校給食事業委託業者選定基準や学校給食事業委託業者選定委員会の議事録の公開を予定している。今回の選定についても方法を検討し、公平・公正な委託事業者の選定を行っていく。



▲民間事業者の有償譲渡される留萌市学校給食センター



かわむらただし
川村 忠司
〔萌芽クラブ〕

質問 留萌市の公共交通について

地域公共交通活性化協議会において様々な協議がされていると思うが市立病院から町なかまでの直行バスの導入について議論があったか。また実際に導入できないか伺う。

答弁 市立病院受診後のバスの空白時間が最大2時間待ちと聞いている。それらを含めてバス事業者と協議を進めているところで、高齢者市内バス無償化実証実験の効果として、バス利用者が増えていることから、増便も予定していると聞いている。事業者、利用者双方において必要性を感じているという事で、ご理解いただきたい。

質問 卓球を通じたまちづくりについて

昨年度まで地方交付税措置により3年の計画で進んできたこの事業だが、今年度は単費で事業を展開している。今後の方針として卓球をこの街の文化にしていくのか、あくまで実証実験的に継続していくのか、着地点について市長に伺う。

答弁 この取組を始める際、株式会社VICTASの松下社長から「地域に根付くまでは最低10年はかかる」と言われた通り、地域の頑張る

子どもたちを応援するためにも、卓球をモデルに地域主導で子どもたちがスポーツを続けられるよう、関係団体とも連携しながら地域全体で取組み、「卓球のまち留萌」の実現に向けて、継続、進化させていきたいと考えている。

質問 市の公共施設管理について

留萌市スポーツセンターについては、現在計画を進めている「新交流複合施設整備基本構想」から除外されているが、現在照明の交換が難しいことや、空調設備の整備、バリアフリー化など様々な課題がある。そういった中で今後の維持方針について伺う。

答弁 スポーツセンターについては市の社会教育施設の中でも、最も利用者が多い施設であり、これまでも2度の大規模改修と、指定管理者と協議しながら利用者の安心・安全を最優先とした修繕を行ってきた。今後は耐震診断を実施したうえで、維持整備方針を決定していきたい。



▲照明の交換が困難なスポーツセンター

詳細はこちらから
ご確認ください。



令和6年第4回定例会 一般質問と答弁 ②



よこた
横田 美樹
〔萌政会〕

質問 港湾活用について

現在留萌港湾では小麦集出荷貯蔵施設やブルーカーボン推進試験事業、洋上風力発電計画、アウトドア事業など多角的に見た港湾の利活用が検討されているが、活用状況と今後の展望について伺う。

また、石炭需要の低迷に対する今後の展望と小麦集出荷貯蔵施設稼働に伴う、港への影響について伺う。

〔答弁〕市としては、石炭荷役に代わる活用方策を検討していくことが喫緊の課題であり、洋上風力発電事業などの再生可能エネルギーの拠点としての利活用を見据え関係機関と協議しており、事業計画などの検討が進み、国の基地港湾の指定にも期待しているところである。

小麦集出荷貯蔵施設稼働に伴う影響予測として、小麦輸送船の入港増加による港湾関係者による事業継続や背後圏産地の作付の安定化など、港湾に依存する産業における経済波及効果にも繋がると考える。

質問 特定利用港湾について

特定利用港湾に指定された目的と今後の港湾整備について、最北の指定港湾となる留萌港に対し国からどのような目的や港湾整備についての

説明を受けているのか。

また、国家安全保障戦略に公共インフラ整備の推進が明記されている「国民保護への対応、平素の訓練、有事の円滑な利用・配置」を掲げる防衛強化に対し、特定利用港湾としての留萌港の将来像について伺う。

〔答弁〕国家安全保障戦略に基づき、防衛体制の強化に資する公共インフラ整備について、安全保障環境を踏まえた必要な対応を実行的に行うことを目的に、平素より自衛隊および海上保安庁が訓練等で円滑に港湾を用できるような選定。港湾法等の既存の法令に基づき、大規模災害時や捜査救難、人命救助などの対応時に迅速で円滑な施設の利用が可能。

海上自衛隊の艦艇の利用促進による地元の経済効果の広がりや、災害発生時における孤立地域等への防災強化など、留萌港の総合的な機能強化を視野に進めていく。



▲大型船舶の利活用が期待される留萌港湾



うかわ
宇川 達朗
〔萌政会〕

質問 子どもたちの教育・医療

留萌市立病院小児科にて、外来診療が月曜日、水曜日、金曜日の午後3時までとなっている。小・中学生の下校時刻には受付が終了しており、下校時に体調不良が判明した際などは受診ができない。また、ワクチン外来も同様に、放課後にも受診できないような診療体制の検討はできないか伺う。

〔答弁〕診療時間について、常勤医がいる診療科の中で唯一午後外来も実施し、子どもたちの急な体調不良にも対応できるように努めている。受付時間についても、診療や季節性を除くワクチン接種に関しては午後3時までとしているが、延長を希望する声も届いており、関係部署と協議を行い課題などの整理を進める。また、今後においても診療時間の延長に伴う看護師の配置や勤務時間の整理、診療放射線および臨床検査などの受け入れ枠の調整など、診療の効率性を踏まえ課題解決に向けて検討を重ねる。

質問 まちづくりとモンベルアウト

ドアヴィレッジるもい基本計画駅前を中心に、市内へ人の流れを作るまちづくりの展望の中で、留萌

市の中心に位置する旧留萌プラザの在り方も検討する必要がある。昨年、天井落下にて留萌市が250万円で緊急的な対応を行なった。市民の通行の安全を確保する観点から地下水ポンプの保守点検で、年間約20万円の支出をしており、これもなぜ留萌市が負担し続けるのか。市民に危険が及んだことも含めて、旧るもいプラザの協議の進捗状況及び利活用や解体も含めた抜本的な解決策について、市長の考えを伺う。

〔答弁〕旧るもいプラザについては、建物の状態に起因し、生活環境の保全上必要がある場合には、市として対応可能な範囲で最小限度の保全措置を行い安全措置に努める。景観面安全面でも懸念しているが、個人所有財産であることや市として跡地利用を見据えた活用策が見いだせず具体的な協議を進めるに至っていない。



▲安全面が懸念される旧るもいプラザ

令和6年第4回定例会 一般質問と答弁 ③

詳細はこちらからご確認ください。



こぬま きよみ
小沼 清美
〔無党派〕

質問 不登校児童・生徒への支援について

留萌市においても不登校児童・生徒は50人を超えている。不登校の要因は様々なため、一人一人に合った対応が必要になると考える。そこで、不登校児童・生徒に対する学校や家庭への支援としてどのような対策を講じているのか伺う。

答弁 スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーといった専門家による児童・生徒や保護者との面談を行い、医療福祉機関等への働きかけや家庭環境の改善、児童・生徒への対応方法のアドバイスなど、必要とされる支援の提供を行ってきている。また、児童・生徒一人一人の多様性に応じた教育指導や生活指導を可能とする「エデュパス」や、

不登校児童・生徒がこれだけ増えている状況においては、学校に行かないと教育を受けられないということではなく、学校に行かなくても学べる居場所、心を休める居場所など、不登校の子どもたち一人一人に寄り添える多様な居場所がなければならぬと考える。昨年の5月に開設した教育支援センター「ゆっくるも」の運営状況について伺う。

学校生活における児童・生徒の満足度や意欲、対人関係能力などをアンケート方式により測定するための「キューユー」を小・中学校に導入。

また、留萌中学校は不登校児童・生徒に対する支援推進事業の指定を北海道教育委員会から受け、加配教員が配置され、学校の中に校内教育支援センターを設置。港南中学校では、別室登校の教室を設置し、授業が入っていない教諭が交代で不登校対策を行っている。

教育支援センターは指導員の付き添いのもと、別室登校による個別対応が増えてきている現状や、不登校児童・生徒数増加傾向にあるということから体制的に充実していきたい。給食が提供できるのであれば、保護者の負担軽減になると考えるが、児童・生徒や保護者のニーズ等の把握について検討していきたい。



▲機能強化が求められる教育支援センター「ゆっくるも」



よねくら やすお
米倉 靖夫
〔未来クラブ〕

質問 洋上風力の推進

国は、化石燃料に依存しない再生可能エネルギーの導入を進めている。先行事例による漁業への影響として洋上風力に魚が集まるなど、漁業へのメリットもあるよう。持続的な漁業経営を進めていくため、漁業関係者に洋上風力の理解をどのように図り、漁業振興をどう進めていくのか具体的な考えを伺う。また、港湾区域や前浜に実証実験として、風車を建てることは可能か伺う。

答弁 海環境が年々変化し、漁業への影響が出てきている。次世代に持続的な漁業を繋げていくためにも洋上風力発電事業が漁業との共存により漁業振興に繋げる可能性があることを情報共有し、漁業関係者への丁寧な説明と定期的な情報交換で、理解の醸成と共通認識を深めたい。事業者を含めて積極的に、この海域にポテンシャルがあることを強調しながら、この地域での実証を實際にやっていただけだと思っている。

質問 水産振興センター整備
大学との産学官連携を進めながら先進的な技術を開発し、漁業振興を進めていくためにも、中西市長の公約でもある水産振興センター整備は

必要。整備の進捗状況を伺う。事業費は、国の補助に頼るのではなく、ある程度市の財政投資も必要と考えるが、市長の考えを伺う。

答弁 市内水産業の更なる振興を目的に水産物高付加価値機能、漁業資源増大のための増養殖機能及びブルーカーボンを一体的に推進する拠点施設の整備に向け、建設事業費や活用できる補助財源などについて検討を進めている。旧地方卸売市場解体跡地を建設予定地とし、令和5年度に基本設計を行った結果、概算事業費4億4千万が見込まれている。市の経費負担を抑制するため、施設仕様の見直しによる経費の圧縮、多くの取組が補助事業の対象となる事業計画の一部見直しを行い、早期に事業化できるように検討を進めている。



▲狭く老朽化が進む三泊畜養施設での作業

議会の動向

令和6年9月3日から令和6年12月10日までの議会の動向を報告します

- 6.9.3 令和6年留萌市議会第3回定例会開会日
- 9.5 海上自衛隊多用途支援艦「すおう」入港歓迎式典・特別公開・歓迎懇親会
- 9.6 あさの貴博と語る留萌・小平・増毛の集い(令和6年度道政報告会)
- 9.7 海上自衛隊多用途支援艦「すおう」出港見送り
 〃 令和6年度留萌市防災訓練視察
- 9.10 一般質問
- 9.11 令和5年度決算審査特別委員会
- 9.12 本会議
- 9.13 るもっぺポリスフェスタ
- 9.14 いなつ久国政報告会
- 9.17 第9期北海道総合開発計画キックオフシンポジウム
- 9.18 第1常任委員会
 〃 全員協議会
- 9.19 第2常任委員会
- 9.20 第49回富士登山駅伝競走大会留萌自衛隊チーム第4位入賞祝賀会
- 9.21 転入隊員及び家族と会員との交流会
- 9.22 留萌ライオンズクラブチャーターナイト65周年記念式典・祝賀会
- 9.25 議会広報広聴常任委員会
- 10.3 市民と議会の意見交換会
- 10.9 全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡
- 10.10 全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡
- 10.12 東京留萌の会
- 10.15 公共施設整備調査研究会行政視察
- 10.16 公共施設整備調査研究会行政視察
- 10.17 議会広報広聴常任委員会
- 10.18 海上自衛隊「水中処分母船2号」入港歓迎式典
- 10.21 第1常任委員会
 〃 議会広報広聴常任委員会
- 10.22 第2常任委員会
- 10.23 宮城県名取市議会議会広報特別委員会行政視察
 〃 全国市議会議長会基地協議会北海道部会総会
- 10.24 全員協議会
 〃 議会運営委員会
- 10.25 札幌留萌の会
- 10.30 議会運営委員会行政視察
- 11.3 留萌市功労等表彰式
- 11.11 全国市議会議長会第181回産業経済委員会
- 11.13 公共施設整備調査研究会
 〃 議員研修会
- 11.14 議会広報広聴常任委員会
- 11.15 留萌南部三市町議会議員研修交流会
- 11.18 令和6年度「陸上自衛隊留萌駐屯地の充実・発展を求める」要望活動(第2師団)
- 11.19 自治体病院全国大会2024「地域医療再生フォーラム」
- 11.20 全員協議会
 〃 各派代表者会議
- 11.22 令和6年度「陸上自衛隊留萌駐屯地の充実・発展を求める」要望活動(中央要望)
- 11.23 北部方面隊音楽まつり
- 11.28 第2常任委員会
- 11.29 第1常任委員会
- 12.5 公共施設整備調査研究会
- 12.6 議会運営委員会
- 12.9 公益社団法人留萌地方法人会提言書受理
- 12.10 令和6年留萌市議会第4回定例会開会日

こんなことが決まりました

令和6年 第4回定例会 12月10日～18日

令和6年 第4回定例会

諮問	・人権擁護委員の推薦について …適任
報告	・専決処分の報告について(令和6年度留萌市一般会計補正予算(第5号)について) ・専決処分の報告について(損害賠償について) ほか2件…了
議案	・令和6年度留萌市一般会計補正予算(第6号) ・留萌市港南コミュニティセンターの指定管理者の指定について ・留萌市港北コミュニティセンターの指定管理者の指定について ・留萌市港東コミュニティセンターの指定管理者の指定について ・留萌市港西コミュニティセンターの指定管理者の指定について ・留萌市東部コミュニティセンターの指定管理者の指定について ・令和6年度留萌市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) ・令和6年度留萌市介護保険事業特別会計補正予算(第2号) ・令和6年度留萌市水道事業会計補正予算(第1号) ・令和6年度留萌市病院事業会計補正予算(第3号) ・留萌市の休日定める条例等の一部を改正する条例制定について ・市立留萌図書館条例の一部を改正する条例制定について ・財産の取得について ・令和6年度留萌市一般会計補正予算(第7号) ・留萌市一般職員給与条例等の一部を改正する条例制定について ・令和6年度留萌市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) ・令和6年度留萌市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号) ・令和6年度留萌市介護保険事業特別会計補正予算(第3号) ・令和6年度留萌市港湾事業特別会計補正予算(第1号) ・令和6年度留萌市水道事業会計補正予算(第2号) ほか1件…原案可決

編集後記

あけましておめでとうございます。
 今年は例年からみると雪も少なく、運動不足気味ではありますが健康に気を付けながら過ごしたいと思います。この広報誌も引き続き、市民の皆さまに必要とされる情報を共有し、伝わりやすい発信に努めてまいります。
 今年も1年、よろしく願いいたします。(忠)



▲かわら版・HP作業班



▲議会だより作業班